

(一般情報)

スマート農業技術の導入による水稻経営の発展に向けて

～神崎町で無人田植機の実演会が行われました～

香取農業事務所改良普及課 令和3年5月11日発

神崎町で水稻・麦・大豆の生産を行う(農)神崎東部では昨年度まで「スマート農業実証プロジェクト」に取り組み、GPS制御による自動運転トラクタや直進キープ田植機などを導入し、水田におけるスマート農業体系化を牽引しています。

4月22日、農機メーカー主催による無人田植機の実演会が(農)神崎東部の圃場で行われ、生産者、関係機関等、約40名が出席しました。苗と肥料・農薬の補給は人間が行いますが、植え付けはリモコン1つで簡単に操作できました。参加した生産者からは、「全くの初心者でも作業できる」、「作業精度が高い」などの声がありました。

(農)神崎東部では、今後も最新農機や技術の実証を計画しています。農業事務所では、こうした担い手と連携し、スマート農業技術の導入による農家の経営発展や若手農家の育成に取り組んでいきます。



無人作業に見入る参加者たち



無人田植機による移植作業の様子